

第4回 JPA PG カップ in 富士山 テイクオフに関するローカルルール

JPA 競技事業部

・テイクオフに関するローカルルール設定の趣旨

この度は、第4回 JPA PG カップ in 富士山にエントリーいただきありがとうございます。本大会では、昨年の大会アンケートに記載された要望を鑑み、テイクオフに関して、大会初日は昨年度の JNL(現 PNL)の順位、2日目以降は前日までの総合順位を基にした、プール制テイクオフを導入いたします。その目的は、狭いテイクオフエリアからの選手の円滑なテイクオフを実現することにあります。選手の皆様にとっては、自分の出るタイミングをあらかじめつかんでいただき“出たいのに出られない状況、割り込み”などのストレスを感じる事のない運営を目指しております。選手の皆様に於かれましては、本ローカルルールの趣旨をご理解いただき、事前にルールを理解したうえで、参加して下さいます様、お願い申し上げます。

・プール制テイクオフについて

プール制テイクオフとは、参加選手をあらかじめ順位順にグループに分け、上位グループからテイクオフしていきます。グループは成績順で男性10名、女性5名で構成され、同じグループ内では、参加選手の間でテイクオフ順を調整していただきます。一連の流れとしては、ゲートオープン前に、準備を終えた最初のグループの選手から、ウェイトニングゾーンからプールゾーンに入って待機します。選手は順次、テイクオフディレクターのコールにより、プールゾーンからテイクオフゾーンに入り、テイクオフしていきます。(各ゾーンに関しては次ページの図を参照してください。)基本的に自分が所属するグループでテイクオフしていただきますが、何らかの理由により、テイクオフできなかった選手は、次のグループがプールゾーンに入ったときに、**最後のプールへ回って、テイクオフしていただきます。**グループメンバーのチェックに関しては、チェックするスタッフを設けますが、選手間のモラルでルールを守っていただきたいと思っております。

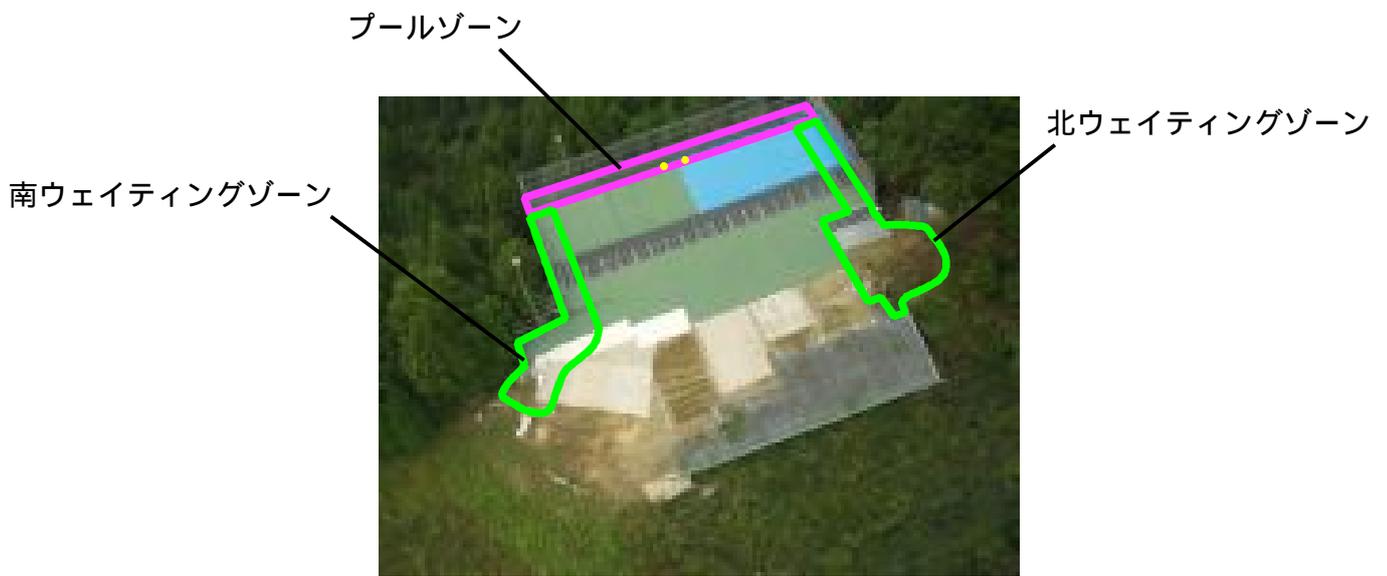
・受付およびテイクオフでのウェイトニング方法

選手の皆さんは受付時に必ず自分のテイクオフ順のグループを確認してください。

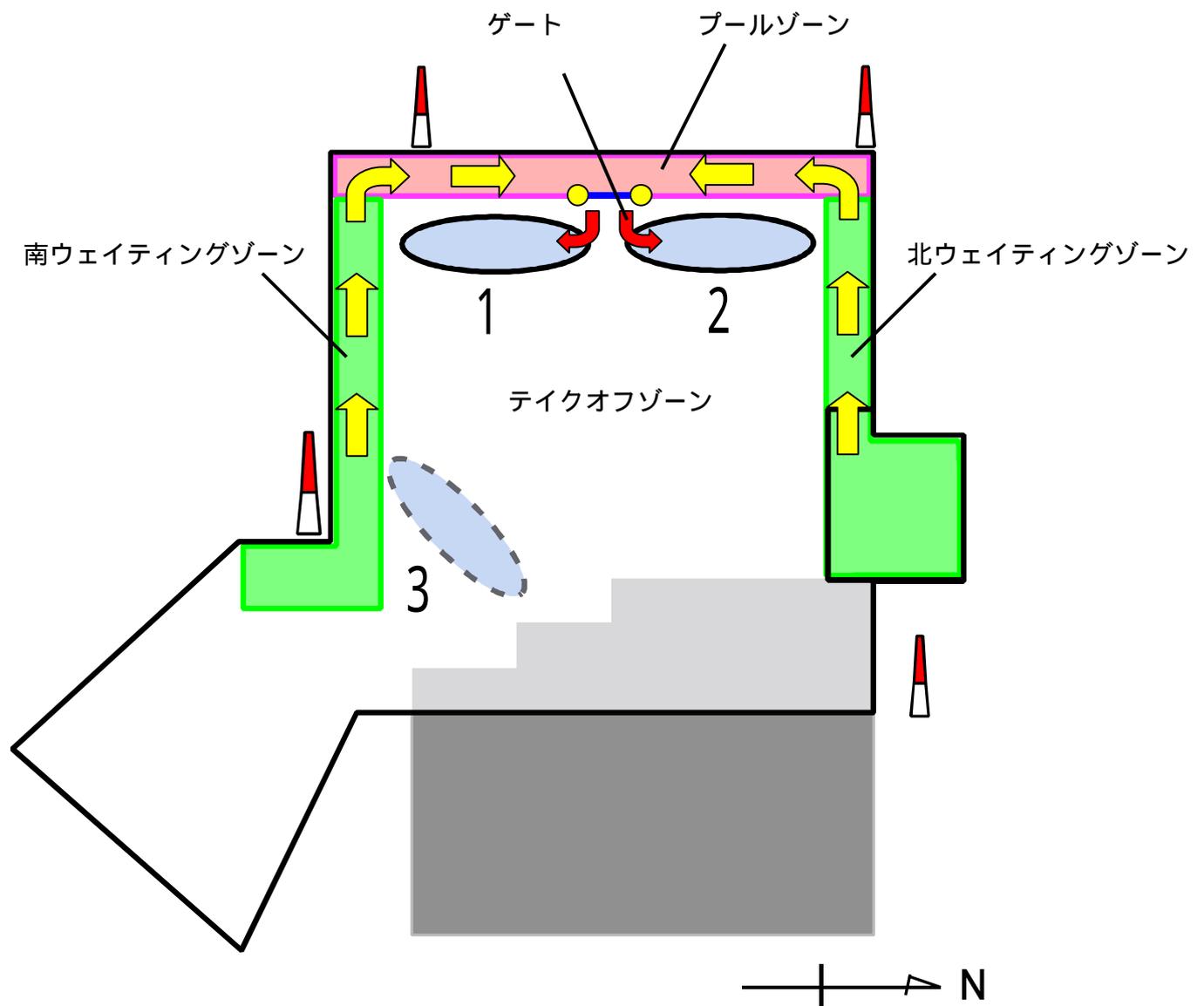
プール制テイクオフを円滑に進めるため、テイクオフに上がった後、テイクオフ南北(富士山に向かって左右)にそれぞれ設けられたウェイトニングゾーンに、同じグループのメンバーが均等に分かれるように、プールゾーン入り口を先頭にして上位グループから順番に機材を並べて待機してください。南側に並んだから南のテイクオフゾーン、北に並んだから北のテイクオフゾーンから出るということではありません。狭いテイクオフの限られたエリアでのウェイトニングとなります。テイクオフを円滑に進めるためご協力をお願いいたします。

・テイクオフのやり直し、テイクオフディレクターの指示に関して

テイクオフを技術的な理由で失敗した場合、テイクオフディレクターはテイクオフを円滑に進めることを考慮し、すぐにやり直し、プールゾーンで待機かを支持します。待機を命じられた場合は、プールゾーンに一旦戻っていただきます。また、テイクオフディレクターがテイクオフの指示を出しているにもかかわらず、長時間テイクオフしない選手に対しても、一旦、プールゾーンに戻っていただきます。また、機体をセットアップしたときに、ライザーを外して、ラインチェックをしなければならない状況になった場合は、全てのグループの後に回っていただきます。選手の皆さんはあらかじめラインチェックをして、テイクオフゾーンに入ってください。



プールゾーンとウェイティングゾーン



テイクオフでの選手の流れ